

卒業論文作成の体験談

卒業論文仮題目決定… (6月頃) 大まかに自分の興味のある内容・テーマを決める。

↓

※絶対に友達に合わせない！まだ大丈夫が命取り！

「んま、これでいっか」が後々あだとなります。初めのテーマ設定が適当だと、制作が進みづらいです。なので、自分で興味あるテーマを探してください。

資料集め… (6～8月頃) 夏休み前に資料をしっかりと集めておく。

↓

※先延ばしにすればするほど、ほしい資料が得られなくなるかも…

※時間があるうちの早め早めの作業が大事！

この資料集めも、自分の書こうと思っているテーマが決まらなると資料の集めようがありません。やっぱり9月以降から始動しだす人が多いけん、先延ばしにすればするほど、欲しい資料が借りられててゲットできなくなるかも…時間があるうちの早め早めの作業が大事になります！

卒業論文作成開始… (9月～10月) 自分の書いていく内容の要点をまとめ、卒業論文題目決定の後、とにかく書いてみる。

↓

※ゼミ発表のために要点をまとめてはダメ！

※なぜこの題目を選んだかを素早く序論にまとめる。

※書き始めたら題目を変更したくなる？！

「※ゼミ発表のために要点をまとめてはダメ！」とあります。やはり「ゼミ発表はゼミ発表。卒論は卒論」というように分けずに、ゼミ発表をしっかり卒論と結び付けて作業をすすめましょう。

そして書き始めたら「題目を変更したい」と思う人もできますが、一度テーマを提出すると変更はできなくなります。ですので、最初のテーマ設定が重要です。

卒業論文完成・提出… (1月) 時間厳守。とにかく余裕をもって完成させること。

↓

※当日はパソコン室もいっぱいになり…。年内完成を目指す。

※この時期(一月)はパソコン室もいっぱいになります。仕上がったとしても、提出時に不備があると、その卒論はガチで受け取ってもらえません。ですので、年内完成を目指し、何度も先生方に添削をしてもらい確実に完成させてから1月を迎えて下さい

口述諮問… (2月) 自分の論文を見直し、何を聞かれても答えられるくらいに。

※提出してから約1か月、気を抜きすぎていたら大変なことに…

※提出してから約1か月、気を抜きすぎていたら最期の最後で痛い

目に。試問が終わったあと泣いて出てくる人もちらほら…せっかく就職も決まったのに…

◎テーマがなかなか定まらない…

興味がないから何もやらないというのは全く何も進みません。

今まで受けてきた講義の内容を振り返ってみましょう。過去のノートやプリントを振り返ってみるだけでも、もしかしたら、自分が少しでも興味が持てて、卒業論文のテーマになる内容のものがあるかもしれません。ゼミの先生に早めに相談しましょう。

◎教育実習に行くから卒論どころではない…

教育実習は卒論作成の時間を大きく削られます。そして、実習明けに周りが着実にすすめていることに焦ります。しかし、教育実習で培った根気をばねにして素早く取り組む。

実習先で空き時間は絶対にあります。資料を予め準備して実習先で読んでおくことがポイント。他大学から来ている実習生に卒論を書いているか聞いてみるなどして、教育実習で頭がいっぱいにならないようにする。

◎行き詰ってしまったら…

先生やいろんな人に相談してみましょう。知らないことをわからないままにしている、口述諮問で突っ込まれて恥ずかしい思いをするだけでなく、わかっているところとそうでないところをちゃんと整理できないと、いつまでも繋がらなくなってしまうかもしれません。わからないことを聞くことは恥ずかしいことではないので、どんどん質問して理解を深めてください。

正月にお酒も飲めなければ特番も見れない。卒業最後の正月が最悪の思い出になってしまう…。そう考えると行き詰ってなんかいられな体験談い！！